

Purple Songs  
Can Fly





## Mission Statement

**Positively affecting the lives of pediatric cancer patients and their families through the writing, recording and sharing of their original songs.**

## ミッションステートメント

オリジナルソングの作曲、録音、共有を通じて、小児がん患者とその家族との生活に積極性を生み出す力を与えます。

## Our story

2006年に設立された Purple Songs Can Fly は、テキサス小児がん血液センターでがんや血液疾患の治療を受けている多くの子供たちに音楽によって辛い思いを解消する場を提供するユニークなプログラムです。この種のものとしては初めてとなるこのプログラムでは、子供たちとその家族たちは、病院内のレコーディングスタジオで創設者の アニータ・クルースや他のプロのシンガー・ソングライターと協力して、オリジナルの作曲を録音しています。

子供たちは、さまざまな考えや感情を表現するための、創造性が発揮される音楽環境を与られます。子供たちが作曲に携わった音楽を友人や家族と共有できることとなります。

2011年、パープルソングスキャンフライはポータブルレコーディングスタジオを設立しました。これにより、音楽家たちは入院患者の子供たちとベッドサイドで協力して、自分たちの曲を書いたり録音したりできるようになりました。さらに、2012年には、パープルソングスキャンフライはボイスアメリカキッズネットワークと提携して、小児がん患者が司会を務め、童謡や医師、看護師、特別ゲストとのインタビューを特集するオンラインラジオ番組を制作し始めました。2013年、パープル・ソングス・キャン・フライはヒューストン交響楽団とのコラボレーションも開始しました。このプログラムでは、交響楽団の団員達がパープルソングスキャンフライスタジオを訪れ、子供たちが作った歌詞に伴奏を付けます。

パープルソングは実際に飛べます。子供たちの楽曲は紫色のCDにコピーされたり、フライドライブにコピーされ、参加したゲスト、パイロット、宇宙飛行士によって地球上のさまざまな場所や宇宙に飛ばされます。これまでに、何千もの曲が書かれ、録音され、世界中で国境を、地平線を越えて流されてきました。これらの曲は2回のスペースシャトルのミッションで飛行し、コンチネンタル航空とユナイテッド航空の機内プレイリストで聞かれ、ローリングストーンズとともに世界中をツアーし、NOAAの海底ミッションで旅行し、エベレストに登頂し、ブルーエンジェルスと飛行し、そしてタイタニック号の海底遺跡を訪れました。そして、パープル・ソングス・キャン・フライの子供たちは、ニューヨーク市のカーネギー・ホールで彼らの曲「セレブレーション・オブ・ホープ」の世界初演を披露しました。

2015年、初のパープル・ソングス・キャン・フライ・ミュージカル『ジャーニー・トゥ・ホープ』が長期患者6人によって制作されました。治療中にパープル・ソングス・キャン・フライのスタジオでそれぞれが書いた曲にインスピレーションを受けて制作された。このミュージカルは現在、数々の賞を受賞し更に映像作品として、ドキュメンタリー『Journey To Hope』が制作されました。

パンデミックの最中に、『Journey To Hope』のミュージカル続編であるHope Can Happen が制作され、2023年6月に初公演が行われました。

これらの子供たちの夢、願い、考え、感情、想像力が音楽の創造性を通じて羽ばたくにつれて、舞い、飛び、病気の障害を乗り越えていくことが本当に現実になるのが、パープルソングスキャンフライのビジョンです。飛び交う紫の歌は、治癒の希望を表す具体的なシンボルとなります。

## Our History

数年前、私はテキサス小児がん・血液学センターの医学芸術プログラムの客員アーティストとしてテキサス小児病院で演奏を始めました。私は創造性と治癒が結びついていると長い間信じてきました。そのため、小児がんフロアでのパフォーマンスは、音楽やその他の芸術関連の活動が医療環境にどのような影響を与えるかを知る機会となりました。テキサス小児病院の医師、看護師、スタッフは、広範な芸術プログラムを支援しており、創造性は人生を向上させ、病気の子供たちの人生に非常に強力な影響を与える可能性があるという信念があり、私くしとして共感しました。（アニータ クルース）

長年子供たちと仕事をして、子供たちが自分で曲を書くのを手伝い、レコーディングのために子供たちをプロのスタジオに連れて行くこともよくありました。数年前、私は自分の作曲のために小さなホームスタジオを設置し、その後、レッスン中に生徒たちの歌や作品を録音するためにその機器を使い始めました。生徒たちと一緒に曲を書いたり録音したりすることは、ピアノのレッスンの一環として行われ、通常は週ごとに行われました。2004年に、私の生徒の1人、サマンサキルションが、曲を書くためにだけにピアノのレッスンで私と一緒に働き始めました。彼女が1時間のセッションで簡単にオリジナルの曲を書いて録音したとき、私は新たな可能性を感じ始めました。当時のテクノロジーは大幅に進歩していたため、小さなホームスタジオで比較的高いレベルで簡単に曲を書いて録音し、すぐにディスクに書き込むことができました。この技術的な改善により、私は紫色のスタジオを病院内に再現し、子供たちが自分で曲を書いて録音し、CDを手にとり退院できるようにするというアイデアを思いついたのです。

2004年12月に医学芸術プログラムのディレクターであるキャロル・ヘロンに提案し、テキサス小児がん・血液センターで治療を受けている子供たちとその兄弟たちにユニークな体験を提供するプロセスを開始しました。そして2006年3月21日にパープルソングスキャンフライが設立されました。

2003年、9月11日を追悼して書いた曲「*If We Can Fly to the Moon*」は、宇宙飛行士ジョン・ヘリントンとともにスペースシャトル「エンデバー」ミッションで飛行することになりました。歌が遠くまで（地球の周り500万マイル以上）飛んでいくのはとてもスリルがあったので、子供たちが病院で書いた歌も飛ばしてもらうことにしました。私は彼らが世界中の興味深い場所に飛んでいくのを想像しました...そしてついには宇宙にまで飛ぶことになりました。

「パープル・ソングス・キャン・フライ」が始まり、私は毎週子供たちと接し、ビジョンと現実がひとつになって、私が予想していたよりもさらに強力な成果が生まれました。私はこのような子供たちが音楽を通じて自らを表現する手助けができることをとても幸せに感じており、子供たち一人ひとりの想像力の中に未知のすばらしい何かを待っているのに驚き続けています。

私は信じています ...

どの子どもたちの心の中にも、聞いてもらえるのを待っている歌があります。

米国パープルソングスキャンフライ創設者  
パープルソングスキャンフライジャパン 副会長 アニータ クルース

## 創設者兼エグゼクティブディレクター アニータ クルース



クラシックの訓練を受けたピアニストであるアニータは、ミシガン大学でセオドア・レトヴィンとともにピアノ演奏の修士号を取得し、自身の音楽を始めました。

それ以来、アニータは数々のオリジナル音楽の CD を作曲しました。ライト; 創造飛行; クリスマスライト; 家から子守唄。月まで飛べるなら; 海を夢見て; そして、「Songs from Within—The Magdalene Mystique」。

2006 年 3 月、アニータは、テキサス小児病院のテキサス小児がんおよび血液センターの子供たちに創造的な音楽を提供することに専念する非営利団体、パープル ソングス キャン フライを設立しました。アニータは病院内に社内レコーディング スタジオを作り、子供たちやその兄弟たちと協力して作曲、録音し音楽活動を展開しています。

2010 年、アニータは セントルイスのメリービル大学で卒業式の演説を行い、人道文学の名誉博士号を授与されました。パープル ソングス キャン フライに触発されて、メリービルの音楽療法部門は「キッズ ロック キャンサー」を創設し、セントルイスの 3つの小児病院でガンの治療を受けている子供たちに作曲とレコーディングの機会を提供しました。



## なぜ紫？

紫は 子供の創造性と想像力を活性化します。

紫は、勇気、自信、征服、保護、安全、習熟、尊厳、強さ、力、創造性、知恵、直観、理解、感謝、癒し、霊性、共感、他者への奉仕の気持ちと関連付けられています。

青と赤、紫の組み合わせが理想的な色と考えられています。

紫は 個人と普遍を結びつける色と言われています。

紫は、 Purple Songs Can Fly の創設者アニータ クルースが子供の頃から好きな色でした。

そして... 最も重要なことは、多くの子供たちは紫という色が大好きです。

## Our Program

### ☆子供たちの自由な発想からオリジナルソングの制作

パープル ソングス キャン フライは、音楽家ががん患者の子供たちのベッドサイドに寄り添い協力して作曲し録音したりできるポータブル レコーディング システムを採用しています。

このプログラムには、がん患者または兄弟など治療を受けている子供なら誰でも参加でき、音楽の訓練や経験は必要ありません。

希望についての歌から、子猫についての歌、薬の歌から感謝の気持ち、親友の歌からダンスまで、思いつく限りのあらゆるテーマで曲を書くことができます。どの曲もユニークですが、パープル ソング キャン フライのスタッフは、まず子どもの言葉を聞き取ることに取り組み、それから歌詞とその基礎となる音楽の作成に移ります。子どもたちは各段階で参加し、聞きたいリズムや音を選択し、独自のメロディーを作曲することもあります。

### ☆死別プログラミング

チャイルドライフの専門家、ソーシャルワーカー、テキサス小児がん・血液センターのスタッフは、愛する人を亡くした家族に提供される毎年恒例の死別リトリートである「リトリート・オブ・リニューアル」を創設しました。

このリトリートでは、パープル・ソングス・キャン・フライの音楽家たちが、亡くなった子どもたちの兄弟たちと協力して、兄弟や姉妹の喪失についての歌を書き、録音します。ポータブル スタジオを使用したこの録音プログラムは、子供たちと家族が共有する喪失感や愛情を表現する悲しみを緩和することにより、子供たちと家族に心の安寧をもたらします。

### ☆ラジオ番組

Voice America Kids — パープル ソングス キャン フライ ラジオ ショー

2012 年から 2015 年まで、パープル ソングス キャン フライはボイス アメリカ キッズ ネットワークと提携して、パープル ソングスの子供たち、エミリー フリーマン、ザカリー タブリン、ドミニク ディバラが司会を務めるオンライン ラジオ番組を制作しました。番組では、子供たちが録音した歌や、医師、看護師、特別ゲスト、そしてパープル・ソングス・キャン・フライの子供たちへのインタビューが放送されました。この番組は、ボイス アメリカ キッズ ネットワークで 3 年間、毎日複数回オンラインで放送され、10,000 人以上のリスナーに世界中に放送されました。

## Special Flight

子どもたちの夢、願い、考え、感情、想像力が音楽の創造性を通じて羽ばたくにつれて、舞い、飛び、病気の障害を乗り越えていくことが本当に現実になるのが、パープルソングスキャンフライのビジョンです。飛び交う紫色の歌は、治癒の希望を表す具体的なシンボルを生み出します。

パープルソングは実際に飛べます。17年前に最初の曲が録音されて以来、楽曲はCDやフライドライブにコピーされ、乗客、パイロット、宇宙飛行士によってさまざまな交通手段で国、都市、特別な場所、特別なイベントに「飛ばされて」きました。地上、海中、さらには宇宙まで。

### • 世界一高い建物

パープル・ソングスは、アラブ首長国連邦のドバイにある当時世界で最も高い建物（2,723フィート）のブルジュ・ハリファを訪れました。

### • ユナイテッド航空の機内プレイリスト

パープルソングスはユナイテッド航空の機内プレイリストに乗りました。

### • エベレスト山頂

パープル・ソングスはスコット・パラジンスキーとともにエベレスト山頂に登頂し、翌年、スコットはがんセンターの子供たちを訪問し、パープル・ソングス・フラッグを返却し、パープル・ソングス・キャン・フライに一連のチベットの祈りの旗を贈りました。

### • スペースシャトルのエンデバーミッション

パープル・ソングスは、ハイデ・ステファニーシン＝パイパー宇宙飛行士とともに、NASAスペースシャトルSTS-126「エンデバー」に乗って、国際宇宙ステーションへの2週間の2回目のミッション飛行をしました。地球に戻ったハイデさんは夢を託したCDと共に、がんセンターの子供たちを訪ねました。

### • スペースシャトル発見ミッション

パープル・ソングスは、スコット・パラジンスク宇宙飛行士とともに国際宇宙ステーションへの2週間のミッションで、NASAのスペースシャトルSTS-120「ディスカバリー」に乗って宇宙へ飛び立ちました。

### • コンチネンタル航空の機内プレイリスト

パープルソングスは、コンチネンタル航空のボーイング767型機と777型機で3年間飛行し、機内プレイリストに登録されました。

### • ローリング・ストーンズのツアー

デイヴ・ラウズのおかげで、パープル・ソングスは「ザ・ローリング・ストーンズ」とともにワールド・ツアーに同行。バンドとパープル・ソングスは上海、パリ、東京、ミラノ、ミュンヘン、オークランド、チューリッヒ、ケルン、シドニーを訪れました。

### • カーネギーホール、ニューヨーク

パープル・ソングスは、アニタ・クルーゼとパープル・ソングス・キャン・フライの子供たちとともに、ニューヨークのカーネギー・ホールでの子供向けの曲「セレブレーション・オブ・ホープ」の世界初演公演に共演しました、

## Guest Musician

- アレクサンドラ・アドキンス - ヴァイオリニスト
- アリエラ・アルパート - ヴィオラ奏者
- スティーブン・バーバー - 作曲家
- ジェナ・バルグーティ - ヴァイオリニスト
- クリス・ベッカー - ピアニスト
- ソーニャ・ブルザウスカス - メゾ・ソプラノ
- マイク・バーグ - テレビプロデューサー
- スザンナ・チョップフェル - シンガー/ソングライター
- スティーブ・クリステンセン - オーディオエンジニア
- デヴィッド・コナー - ダブルベーシスト
- ミシェル・コーワン - シンガー/ソングライター
- リアン・クレイボ - ファゴット奏者
- Annalisa Cuano - シンガー/ソングライター
- ブライアン・デル・シニョーレ - パーカッション
- カラ・ディオガーディ - ソングライター/プロデューサー
- アラリー・ドロフ - フルート奏者
- ポール・イングリッシュ - ピアニスト
- ギリエルメ・フォンセカ - ギタリスト
- デヴィッド・フォスター - プロデューサー/作曲家
- トリシア・フォックス - シンガー/ソングライター
- ヘレン・ウェバーバル - チェロ奏者
- スターリック・ウィリアムズ - ドラマー
- エール・アレイ・キャッツ - 男性アカペラグループ
- キャロル・ヨンキン - 俳優、監督、ミュージシャン
- レイ・ヨンキン - シンガー/ソングライター
- ロベルト・フランツ - 指揮者
- J. トッド・フレイジャー - 作曲家
- グスタボ・ガリンド - シンガー/ソングライター
- デヴィッド・ガーザ - シンガー/ソングライター
- コリン・ガットウッド - オーボエ奏者
- ケネス・ゲイル - テノール歌手
- グロリア・ゲイナー - レコーディング・アーティスト
- マーク・グリフィス - パーカッション
- フィリップ・ホール - ピアニスト/編曲家/教育者
- フィリップ・ホール・シンガーズ - ゴスペル合唱団
- マーシャ・ハンコック - 歌手
- ボブ・ヘンシェン - ジャズピアニスト
- アビー・ヒックマン - シンガー/ソングライター
- キャサリン・ジェイコブス - シンガー/ソングライター
- ライネル・シュベール - ヴァイオリニスト
- カルロス・ギレルモ・ユング - 指揮者
- アーロン・カウフマン - シンガー/ソングライター
- ハンナ・ケイ - シンガー/ソングライター
- ジェニファー・キーニー - フルーツィスト
- デヴィッド・ラドゥカ - 歌手、ダンサー、俳優、監督
- オリヴィア・レーン - シンガー/ソングライター
- Matias Lanz i - オーディオ エンジニア
- アレシア弁護士 - オーボエ奏者
- リビ・レベル - 指揮者
- アンドレス・レビン - プロデューサー
- カイラ・リンク - シンガー/ソングライター/ソプラノ歌手
- ジュリー・ライトル - シンガー/ソングライター/音楽療法士
- Chris Longwood - オーディオ エンジニア
- ローレン・マリー - シンガー/ソングライター
- デルフィアヨ マルサリス - トロンボーン奏者/プロデューサー
- アナ・マリア・マルティネス - ソプラノ
- ロニー・メイソン・ジュニア - ベーシスト
- ランドール・ミラー - オーディオエンジニア
- デヴィッド・マンディ - ソングライター/プロデューサー
- クリス・ニール - ヴァイオリニスト
- オリビア・ニュートン・ジョン - レコーディング・アーティスト
- トビー・ナトール - 歌手
- アンソニー・パース - ヴィオラ奏者
- ロビー・パリッシュ - ドラマー/プロデューサー
- ポインター・シスターズ - レコーディング・アーティスト
- テレサ・プロクター - シンガー/ソングライター/メゾ・ソプラノ
- ナイル・ロジャース - レコーディング・アーティスト/プロデューサー
- エディ・ラッセル - ハーモニスト
- ボブ・シーファー - テレビジャーナリスト/ソングライター
- ティリ・シーク - シンガー/ソングライター
- デニー・セイウェル - ドラマー
- ガブリエル・スキナー - ヴィオラ奏者
- クリスチャン・スピア - シンガー/ソングライター
- サンディ・スチュワート - シンガー/ソングライター
- ケイ・テイラー - シンガー/ソングライター/ウクレリスト/音楽療法士
- ブラネン・テンプル - ドラマー
- ベンモント・テンチ - キーボード奏者
- ロドニー・ウォーターズ - ピアニスト

## 支援団体

アメリカ航空宇宙局、アメリカ海洋大気庁、ヒューストン交響楽団、ボイス・アメリカ、テキサス子供がんセンター 他数

## **Board of directors**

**Anita Kruse : Board President & Director**

**Regina Elliott : Treasurer & Director**

**Charles Cusack : Director**

**John Singer : Secretary**

## **Advisory body**

**Ron Black:** President, Water System Solutions & Design; Musician

**Anthony Brandt,:** Founder, Musiq; Composition Prof., Rice University

**David Eagleman,:** Neuroscientist; Author

**Burdine Clayton Johnson,:** Director, The Clayton Fund; Philanthropist

**Alecia Lawyer:** Founder, River Oaks Chamber Orchestra; Oboist

**C. Mark Murrah:** Attorney, Murrah & Killough, PLLC

**Scott Parazynski:** Former Astronaut; Physician; Inventor; Mountaineer

**David Poplack:** Director, Texas Children's Cancer & Hematology Centers

**Laura Puzio:** Geologist; Soprano; Philanthropist

**Doug Suggitt:** Executive Director, Periwinkle Foundation

**Glenn Taylor:** Former Chief Marketing Officer, Houston Symphony

**Melissa Wilson:** Anchor, Houston Fox News; Television Journalist

# NPO法人パープルソングスキャンフライ ジャパン

# パープルソングスキャンフライジャパン 役員リスト

**会長：中川原 章** 医学博士 NPO法人小児がん・まごころ機構理事長 佐賀国際重粒子線がん治療財団名誉理事長  
2023年「アルベルト・シュバイツァー章」受章（オーストリアの財団（本部・ウィーン）が運営し、医療、音楽、文化、国際文化活動などに貢献された方々に毎年与えられる）



鳥栖市出身。九州大医学部在学中から小児がんの臨床・研究に取り組んだ。米国に2度留学。がんが遺伝子の変化で起こる病気と分かってきた頃で、カギを握る遺伝子を発見し、論文を発表した。

帰国後は、千葉県がんセンター長、佐賀県医療センター好生館理事長などを歴任し、今年3月まで佐賀国際重粒子線がん治療財団の理事長を務めた。九州大在籍中の1985～88年には、毎年パキスタン・イスラマバードの小児病院で治療にあたり、途上国の医療の厳しさを痛感。今なお小児がんの治癒率が低い状況を改善しようと、中国やインド、ロシア、韓国、台湾などの医師仲間呼び掛けて2021年、「アジア小児血液・がん治療研究グループ」を発足。

**副会長：アニータ クルース** 米国パープルソングキャンフライ創設者  
**ハリータッド ストラドフォード** 元ウィンスconsin州立大学地理文化学学科長  
**井本 一明** IEC国際教養大学理事長

**理事長：古賀 俊光** 医師 NPO法人まごころ医療館院長 日本遠絡医学会遠絡療法専門医  
**副理事：石塚 厚史** 株式会社アルファ・Ai 代表取締役  
**熊澤 慎治** 株式会社ジップ 代表取締役  
**理事：杉江 啓吾** （事務局長兼務）  
**坂井 修、元丸 俊満、横塚克明**  
**川北 寛己、内田 智久、森谷 匡史、杉田 浩士**  
**監事：鶴田 勝巳、吉川 典子**

**事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目4番4号 水道橋ビル2F**

## NPO法人 パープルソングス キャンフライ

### ☆ 活動主旨

この法人は、子供たちの健全な発育を支援することを目的とする。

主に、医療機関との連携の元、小児がんの子供たちによって書かれた詞に曲を、つけ、子供たち自らが歌唱することによって、病を克服する希望を見出し、共に治療する仲間・家族と限りある命に潤いと存在意義を見出し、価値ある人生を歩む一助となるものである。

### ☆ 活動項目

楽曲制作、チャリティーコンサート・イベント事業

ロゴマーク、ブランディング事業、募金事業、児童・青少年福祉・救済事業

### ☆ 活動項目

児童・青少年たちへの支援、小児がんへの支援、などを行うNPO法人および、公益法人は、わが国にも数多く存在し、それぞれが寄付・募金活動をしています。一部の法人を例外として、財政状況は決して潤沢とはいえない現状です。

そこで、本NPO法人は寄付・募金活動を行なうと共に、自ら活動資金を産み出す自立型NPO法人を目指します。

## NPO法人 パープルソングスキャンフライへの支援

当団体の活動の趣旨に賛同し、  
事業並びに運営を支援してくださる法人または個人様を募集しています。

- 子供たちの楽曲制作のサポート
- チャリティーコンサート・イベント事業
- ロゴマーク、ブランディング事業

